

## ○令和元年度教育遺産世界遺産登録推進協議会会議(令和元年6月1日開催)議事録

1 日時 令和元年6月1日(土)午後2時30分から午後4時

2 場所 AP品川10階 ルームA+B(東京都港区高輪3-25-23京急第2ビル)

### 3 出席者

水戸市長 高橋 靖	備前市長 田原 隆雄	足利市副市長 池澤 昭
日田市副市長 大塚 勇二	水戸市教育委員会教育長 本多 清峰	足利市教育委員会教育長 若井 祐平
備前市教育委員会教育長 奥田 泰彦	水戸商工会議所副会頭 大津 順一郎	足利商工会議所専務理事 福島 靖
水戸市世界遺産登録検討 専門委員座長 日高 健一郎	足利市世界遺産検討会議 座長 橋本 昭彦	旧閑谷学校世界遺産登録検 討専門委員 荒木 勝
茨城県教育庁総務企画部 文化課長 市村 志保	栃木県教育委員会事務局 文化財課長 石川 明範	岡山県教育庁 文化課長 大西 治郎
大分県教育庁 文化課長 木下 敬一		

### 4 議題

報告第1号 平成30年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業報告について  
認定第1号 平成30年度教育遺産世界遺産登録推進協議会歳入歳出決算について  
議案第1号 令和元年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業計画・予算について

### 5 会議の内容

はじめに、水戸市の高橋靖市長、備前市の田原隆雄市長、足利市の池澤昭副市長、日田市の大塚勇二副市長にご挨拶いただいた。その後、新任の委員である、茨城県の市村志保文化課長、大分県の木下敬一文化課長をご紹介します、議事に移った。

## 報告第1号 平成30年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業報告について

○高橋会長 報告第1号平成30年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業報告について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは、平成30年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業報告についてご説明します。昨年度に引き続き、パワーポイントを用いながら、前年度の事業をご報告させていただきます。

お手元の資料の2ページから6ページに平成30年度協議会事業について記載させていただいております。スクリーンをご覧ください。まず、世界遺産登録推進事業といたしまして、協議会幹事会・協議会会議をそれぞれ1回開催させていただきました。

調査研究事業といたしましては、これまで作成してきている検討状況報告書素案の内容に厚みを加え、熟度を高めるとともに、文化庁へ報告書の概要版を提出するため、専門部会の開催を通して、登録推進戦略・国内外の教育遺産の評価、資産の保存管理方策について調査研究を実施してまいりました。

現在の主な課題は記載(1)から(3)の通りでございますが、教育遺産の価値づけの整理・過不足のない構成資産の選定、すべての構成資産にかかる保存管理計画の策定でございます。

これらの課題を解決していくため、昨年度は専門部会を3回開催するとともに、各部会の座長の先生にお集まりいただいた専門部会座長会議を2回開催いたしました。あわせて、昨年度は検討状況報告書の概要版を作成いたしました。

概要版に関しましては、11月27日に文化庁へ提出するとともに、わが国の世界遺産暫定一覧表へ追加記載するよう要望書も提出いたしました。画面右側が報告書の表紙で、左側は文化庁の村田善則次長へ要望書を手渡した際の写真でございます。

検討状況報告書の概要版と要望書に対する文化庁からのコメントと主な質疑についてでございますが、文化庁からは技術的・専門的な観点での協力をさせていただくとのコメントをいただきました。その一方で、暫定一覧表への追加記載については、現時点では申し上げられることはなく、現在、暫定一覧表に記載されている7件から順次世界遺産への登録を目指すとの回答をいただきました。

なお、当日、同席された文化庁文化資源活用課の鈴木地平文化財調査官からは、事前レクの段階で要請があれば協議会の会議や4市へ出向いて近年の世界遺産登録のトレンド等についてお話することもできるとの申し出もいただいております。

現状としていつ暫定一覧表の追加があるかは不明ですが、このたび大阪府堺市の百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録されることはほぼ確実ですので、さらに候補物件が減ることとなります。今後いつ公募が出ても速やかに推薦書をだせるように、引き続き調査・研究を進めてまいります。

専門部会で4市の先生方からご指導・ご助言をいただきながら作成した、先月5月時点でのストーリー案のコンセプトでございますが、これは今年度5月に開催された専門部会時点のものでございまして、昨年よりもわかりやすい構図にするとともに、学習を

する者が主体的に学ぶ学習環境があり、その成果として、リテラシーの向上、幅広い知識と教養、優秀な指導者や人材の輩出、知性と礼節を重んじる人格の涵養といった成果が認められると強調しております。

この図につきましては、現在も修正を加えており、近世日本の教育遺産群がどのように稀有な存在であることを証明できるように専門委員の先生のご協力を得ながら、とりまとめているところでございます。

4ページをお開きください。昨年度は事務連絡会議を2回開催いたしました。続きまして情報発信事業といたしまして、協議会ホームページにて、世界遺産登録に向けた協議会の活動やイベントの情報発信を行いました。

最後に普及啓発事業といたしまして、国土交通省の補助金集約促進歴史的風致景観形成促進事業を活用し、「徳川斉昭と弘道館物語～学びが人を創り人が道をつくる～」を制作いたしました。このアニメーションはYouTubeやニコニコ動画上にも配信しております。また、講演会を備前市と足利市、日田市で開催し、市民サービス協働事業を日田市で行いました。

次に5ページをご覧ください。平成30年度の日本遺産魅力発信推進事業でございます。事業別にご説明申し上げますと、情報発信・人材育成事業では、雑誌掲載やカレンダーへの写真提供、日本遺産認定3周年記念による足利学校の夜間特別公開、全国地域映像コンクールにて地域文化アーカイブス賞受賞、日田市による「子供ガイド」「中学生英語ガイド」「日本遺産スタンプラリー」がございました。

普及啓発事業では、水戸市にて日本遺産認定3周年記念イベントが開催され、同じく水戸市でクリアファイルや弘道館や彰考館を含む水戸城跡周辺地区復元模型が製作されました。また、足利学校での遺蹟図書館での企画展示、水戸市や備前市・そして日田市で講演会や講座が開催されました。備前市では「論語かるた」及び「閑谷学校紙しばい」が製作され、

日田市で日本遺産アイデア実現事業「咸宜園入門体験」が催されました。

シンポジウムでは、日本遺産サミットとして富山県の高岡に出張し、日本遺産体験ワークショップ等を開催しました。弘道館で体験いただいている和算体験ピースや足利学校漢字検定等の体験は好評で、多くの方々に体験いただきました。宮川典子文部科学大臣政務官もブースを訪れ、和算体験ピースを体験いただきました。

また、参議院議員の赤池誠明先生、前文部科学大臣の下村博文議員を中心に日本遺産議員連盟が設立されまして、本年の2月13日に自民党本部において日本遺産推進フォーラムが開催されましたので4市の事務局で出席いたしました。

6ページをご覧ください、日本遺産プロデューサーとの意見交換会が備前市にて行われ、構成文化財の視察及び意見交換を行いました。

平成30年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業報告についての説明は以上でございます。

○高橋会長 只今事務局より説明がございました事業報告について、ご質問やご意見等がありましたら、発言をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○荒木委員 昨年度の事業報告を伺って、各市でそれぞれの構成資産について、普及啓発活動や情報発信をされていることは理解しました。

これまでの専門部会の議論を通して、世界遺産としてどのような価値を打出していくのか方向性は出来つつあります。今後の協議会の活動として、各市それぞれではなく、共通の活動として世界遺産に関わる活動を行って欲しいと考えます。

○高橋会長 荒木委員からのご質問に対して事務局から何かございますか。

○事務局 そちらにつきましては、今年度の事業計画の部分でご説明させていただきます。

○高橋会長 承知しました。他に何かご質問等はございますか。では、この内容でよろしいでしょうか。

#### 【異議なしの声あり】

○高橋会長 ありがとうございます。

#### **認定第1号 平成30年度教育遺産世界遺産登録推進協議会歳入歳出決算について**

○高橋会長 それでは認定第1号平成30年度教育遺産世界遺産登録推進協議会歳入歳出決算について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 続きまして、資料7ページから10ページの平成30年度教育遺産世界遺産登録推進協議会歳入歳出決算についてご説明いたします。

はじめに、資料の8ページをご覧ください。まず、平成30年度の協議会歳入決算総額は、616万3千165円でございます。

内訳といたしましては、各市からいただいている、負担金が409万6千円、前年度繰越金が200万2千125円、預金利子や協議会ホームページの広告掲載料等の諸収入が6万5千40円となっています。

次に、資料の9ページの表をご覧ください。歳出決算総額は、418万8千513円となっています。まず、世界遺産登録推進費として3百43万8千565円を支出しています。支出した内容としては、専門部会開催時の専門委員旅費や報償費、昨年度文化庁に提出した検討状況報告書概要版の印刷製本費、幹事会や総会・専門部会などの会議で使用した会場の使用料、協議会ホームページのサーバー賃借料、その他、事務用品や備品の購入費用等となっています。

次に、日本遺産関係費として74万9千948円を支出しています。支出した内容としては、日本遺産サミットでの事務局員の旅費や来訪者に配布したお菓子、日本遺産ホームページの運営に関わる諸経費、日田市の咸宜園入門ナビや足利市の史跡足利学校音声

ガイドアプリのサーバー使用料，日本遺産連盟の負担金等となっています。

なお，今年度の協議会予算への繰越金は，歳入決算総額 616 万 3 千 165 円より歳出決算総額 418 万 8 千 513 円を差引いた 197 万 4 千 652 円となります。

次に，10 ページをご覧ください。当協議会の規約第 11 条に基づき，足利市，備前市，日田市の 3 市の会計管理者による監査をお願いし，適切に処理されていることを認めていただきましたので，本日提出します。

平成 30 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会歳入歳出決算についての説明は以上でございます。

○高橋会長 只今の事務局の説明について，ご質問やご意見等がありましたら，お願いいたします。

○日高委員 本年度の歳入歳出決算を見ると，今年度予算への繰越金が 200 万円近くありますが，これまでも同程度の繰越金だったのででしょうか。また，この繰越金の今後の使い道があったら説明をお願いします。

○高橋会長 資料を見ると前年度も同程度の繰越金ですが，事務局より繰越金の将来的な使い道の説明をお願いします。

○事務局 これまでも繰越金については毎年 200 万円程度でございました。こちらについては，将来開催する予定の国際シンポジウム等のために留保させていただいております。

○高橋会長 よろしいでしょうか。他に何かご質問はございますか。

#### 【特になし】

○高橋会長 では，この内容で承認してよろしいでしょうか。

#### 【異議なしの声あり】

○高橋会長 ありがとうございます。

### 議案第 1 号 令和元年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業計画・予算について

○高橋会長 それでは次に，議案第 1 号令和元年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業計画・予算について，事務局から説明をお願いします。

○事務局 資料 11 ページから 16 ページの令和元年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業計画・予算についてご説明いたします。

資料の12ページをお開きください。はじめに、令和元年度の事業計画についてご説明します。

まず、世界遺産登録推進事業でございますが、1の調査研究事業としまして、現在、検討状況報告書本編の作成を進めており、本日もご出席いただいております、日高健一郎先生、橋本昭彦先生、荒木勝先生をはじめとする、4市の先生方に各専門部会にて、ご協議いただいております。

本年度の専門部会の開催ですが、5月19日に都内の会議室にてA・B・C合同会議を開催させていただいております。

今後の専門部会の開催予定ですが、7月に専門部会A・Bを、9月に専門部会Cを、11月並びに令和2年3月に専門部会A・B・C合同会議をそれぞれ都内で開催する予定となっております。今後の調査研究事業ですが、検討状況報告書本編を本年度中に取りまとめ、令和2年度の夏から秋を目途に文化庁への提出を検討しています。また、報告書本編を文化庁に提出した後にとなりますが、昨年度刊行しました検討状況報告書の概要版につきまして、本編の内容を反映させたいと、英訳を進めたいと考えています。さらに、概要版の英訳が終わり次第、国際シンポジウムの開催を進めさせていただく予定となっております。

次に、2の普及啓発事業ですが、世界遺産講演会を水戸市及び日田市の2市で開催します。水戸市では、10月13日に日田市世界遺産登録検討委員会委員の鈴木理恵先生に、日田市では、令和2年2月23日に水戸市世界遺産登録検討専門委員の鈴木暎一先生に、それぞれご講演いただく予定となっております。

最後に、3のその他ですが、今年度の幹事会は5月14日にこちらと同じ会場で開催しました。また、本日、協議会の総会に当たる、協議会会議を開催しております。事務連絡会議については、7月と9月の2回を予定しています。

次に、資料13ページをご覧ください。日本遺産魅力発信推進事業についてご説明します。

1のシンポジウムへの参加として、毎年開催されております日本遺産サミットへの出展を予定しています。今年度は10月12日、13日に高知県高知市にて開催される予定です。サミットの詳細については、後日、日本遺産連盟の幹事である、高知県よりご連絡をいただけることになっていきます。

次に、2の普及啓発事業ですが、今年度は4つの事業を計画しており、日本遺産サミットにむけ表の(1)～(3)の事業を計画しています。

(1)の共通法被の製作については、日田市の事務局が中心となり進めています。これまでは協議会共通の法被がなく、日本遺産サミットをはじめとする各種イベントでは、各市それぞれの法被を使用していましたが、統一感を図るため今年度製作します。

次に、(2)の普及啓発品ですが、こちらは備前市の事務局が中心となり進めています。日本遺産サミットや各市で開催するイベント等で配布しやすく、喜んでもらえるようなものの制作を検討しています。

次に、(3)の日本遺産PR用共通チラシですが、こちらは昨年度、足利市の事務

局より提案があり、今年度の事業として足利市の事務局が中心となり進めます。こちらは、(1)の共通法被同様、各市それぞれで日本遺産のPR用チラシは作成していますが、より分かりやすく、内容のまとまったものを作成する予定です。

最後に、(4)の日本遺産相互交流事業です。こちらは、相互交流とありますように、各市の小学生に別の自治体の日本遺産を見学し、興味や関心を深めると共に、当地の小学生との交流を図るものを予定しています。今年度は水戸市と足利市で行う予定となっており、水戸市から足利市への訪問は12月に、足利市から水戸市への訪問は来年2月に行う予定となっています。

次に14ページをご覧ください。事業計画に基づく本年度の協議会予算案となっています。まず、歳入歳出予算総額は、別表のとおり、それぞれ6百13万1千円となっています。なお、歳出予算の流用については、規定に基づき、款項相互において流用することができることになっています。

次に、資料の15ページをご覧ください。歳入内訳ですが、各市よりいただいている負担金が4百9万6千円、平成30年度協議会予算の繰越金が1百9万7千4円、諸収入として6万1千円の合計6百13万1千円となっています。なお、負担金については、表のとおり平成27年度国勢調査人口による人口割と均等割りに基づき算出しています。

次に、資料の16ページをご覧ください。歳出の内訳ですが、世界遺産登録推進費として4百70万3千円、日本遺産関係費として1百42万7千円、予備費1千円を計上しています。

それぞれの主な支出項目ですが、世界遺産登録推進費は専門部会出席や世界遺産講演会の講演に伴う委員や講師への謝礼や旅費、世界遺産講演会の広報用チラシ・ポスターの印刷費用、専門部会開催に伴う会場使用料、世界遺産ホームページのサーバー賃借料、日本エコモス国内委員会維持会員の年会費、その他事務処理に係る諸経費となっています。

次に、日本遺産関係費ですが、日本遺産相互交流事業開催に伴う、大型バスの賃借料や参加者の傷害保険料、日本遺産サミットで配布する普及啓発品の製作費や日本遺産ホームページのサーバー賃借料、日田市の咸宜園入門ナビや足利市の史跡足利学校音声ガイドアプリのサーバー賃借料、日本遺産連盟の負担金などとなっています。説明は以上です。

○高橋会長 荒木委員よりご質問のございました、共通での取り組みについて補足説明を事務局よりお願いします。

○事務局 共通の取り組みについては、今後専門部会の部会などでご相談させていただいた上で検討したいと思います。

○高橋会長 承知しました。他に何かございますか。

○田原副会長 冒頭のあいさつでも触れさせていただきましたが、AMD Aの代表である菅波茂先生とお話する機会がありました。菅波先生は、お母様が和気町の大国家のご出身で、お父様の一族には廉塾を開いた菅茶山がいらっしゃいます。先生に4市で世界遺産を目指していることをお伝えしたところ、何か協力できることがあればとのことでございました。

○高橋会長 事務局から何かありますか。

○事務局 菅茶山の開いた廉塾については、廉塾が日本遺産になった際に、本協議会について福山市より問い合わせがございました。

その際、協議会の設立理由や活動状況、加入する際の具体的な手続き等について話をさせていただきましたが、負担金等の問題もあり、協議会への加入は難しいとのことでございました。

○高橋会長 田原市長よりお話をいただいた、菅波先生の件については備前市の事務局と調整のうえ、今後の対応を協議してください。他に何かございますか。

○荒木委員 資料12ページの部分で説明された世界遺産の事業についてですが、専門部会で作成している報告書の中で打ち出すべき提案資産の価値については、概ね合意できている状況です。階層を超えて教育がなされたことは、世界の他の教育遺産と比較しても特出しています。世界遺産の中でも、教育遺産は示されてきましたが、それはラテン語や漢学中心のものであり、我々が示す和漢の教育とは異なっています。また、近世においては洋学も取り入れてきました。その結果として、日本では広範な階層での教育が行われた訳です。ですので、報告書とは別に、そのようなこと打ち出す資料作りが今後必要だと思います。

○事務局 荒木委員から頂いたご意見については、今後検討してまいります。

○橋本委員 事業計画の中で、日本遺産の外国人向けのコンテンツ作成に関する文化庁からの補助金の説明がありました。補助金を活用されるのは良いことだと思いますが、発信する情報の内容について、企業に言葉を決められてしまう心配がありますが、その点はいかがでしょう。

○事務局 そのことについては、もちろん協議した上で決定しますので、企業側にすべて決められてしまうことはございません。

○高橋会長 他に何かご質問はございますか。

【特になし】

○高橋会長     ではこの内容でよろしいでしょうか。

**【異議なしの声あり】**

○高橋会長     ありがとうございます。他に何かございますか。

○田原副会長     昨年度、備前市ではクラウドファンディングを活用し、「論語かるた」と「閑谷学校紙しばい」を作成しましたので、各市長様に贈呈させていただきます。

**【贈呈及び記念写真の撮影】**

○高橋会長     田原副会長ありがとうございました。他に何かございますか。何もないようでしたら、以上で令和元年度教育遺産世界遺産登録推進協議会会議を終了します。皆様ありがとうございました。